



インターコム トランスレーション パターンの設定

Cisco Unified Communications Manager はトランスレーションパターンを使用して、ダイヤルされた番号を操作した後でコールをルーティングします。場合によってシステムは、ダイヤルされた番号を使用しないことがあります。また、公衆電話交換網（PSTN）が、ダイヤルされた番号を認識できない場合もあります。

トランスレーションパターンを追加、更新、コピー、または削除するには、次のトピックを参照してください。

- [インターコム トランスレーションパターンの検索 \(P.50-2\)](#)
- [インターコム トランスレーションパターンの設定 \(P.50-3\)](#)
- [インターコム トランスレーションパターンの設定値 \(P.50-4\)](#)
- [インターコム トランスレーションパターンの削除 \(P.50-11\)](#)
- [関連項目 \(P.50-12\)](#)

インターコム トランスレーション パターンの検索

ネットワーク内にはいくつかのインターコム トランスレーション パターンが存在することがあるので、Cisco Unified Communications Manager では、固有の条件を指定して、特定のインターコム トランスレーション パターンを見つけることができます。インターコム トランスレーション パターンを特定する手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、インターコム トランスレーション パターンの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、インターコム トランスレーション パターンの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [インターコム] > [インターコム トランスレーション パターン] の順に選択します。

[インターコム トランスレーション パターンの検索と一覧表示 (Find and List Intercom Translation Patterns)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、[ステップ 3](#) に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リストボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リストボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注)

検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注)

該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.50-12 の「関連項目」を参照してください。

インターコム トランスレーション パターンの設定

インターコム トランスレーション パターンを設定する手順は、次のとおりです。

始める前に

インターコム トランスレーション パターンを設定する前に、次の Cisco Unified Communications Manager のインターコム項目を設定してください。

- インターコム パーティション
- インターコム ルート フィルタ
- インターコム コーリング サーチ スペース

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [インターコム] > [インターコム トランスレーションパターン] の順に選択します。

[インターコム トランスレーションパターンの検索と一覧表示 (Find and List Intercom Translation Patterns)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- 既存のトランスレーションパターンをコピーするには、対象となるトランスレーションパターンを見つけて (P.50-2 の「インターコム トランスレーションパターンの検索」を参照)、コピーするトランスレーションパターンの横にある [コピー (Copy)] ボタンをクリックし、**ステップ 3** に進みます。
- 新しいインターコム トランスレーション パターンを追加するには、[新規追加] ボタンをクリックし、**ステップ 3** に進みます。

ステップ 3 表示される [インターコム トランスレーションパターンの設定 (Intercom Translation Pattern Configuration)] ウィンドウで、適切な設定値を入力します (表 50-1 を参照)。

ステップ 4 [保存] をクリックします。



(注) 選択したパーティション、ルート フィルタ、および番号計画の組み合わせを使用するインターコム トランスレーション パターンが固有のものであることを確認してください。重複エントリを示すエラーが表示された場合は、ルート パターンおよびハントパイロット、トランスレーション パターン、電話番号、コールパーク番号、コールピックアップ番号、またはミーティング番号の設定ウィンドウをチェックしてください。

[インターコムトランスレーションパターンの設定 (Intercom Translation Pattern Configuration)] ウィンドウに、新しく設定したトランスレーションパターンが表示されます。

追加情報

P.50-12 の「関連項目」を参照してください。

インターコム トランスレーション パターンの設定値

表 50-1 では、[インターコムトランスレーションパターンの設定 (Intercom Translation Pattern Configuration)] ウィンドウ内の使用可能なフィールドについて説明します。

表 50-1 インターコム トランスレーション パターンの設定値


フィールド	説明
[パターン定義 (Pattern Definition)]	
[インターコムトランスレーションパターン (Intercom Translation Pattern)]	<p>[インターコムトランスレーションパターン (Intercom Translation Pattern)] フィールドに、番号とワイルドカード (スペースを使用しない) を含む、インターコム トランスレーション パターンを入力します。たとえば、NANP では、通常のローカル アクセスの場合は 9.@ を、通常のプライベート ネットワーク 番号計画の場合は 8XXX を入力します。大文字の A、B、C、および D を使用できます。このフィールドを空白のままにした場合は、[パーティション (Partition)] ドロップダウン リスト ボックスからパーティションを選択する必要があります。</p> <p></p> <p>(注) 選択したパーティション、ルート フィルタ、および番号計画の組み合わせを使用するインターコム トランスレーションパターンが固有のものであることを確認してください。</p> <p>重複エントリを示すメッセージが表示された場合は、ルートパターンおよびハントパイロット、トランスレーションパターン、電話番号、コールパーク番号、コールピックアップ番号、またはミーティング番号を確認してください。重複エントリを示すメッセージが表示された場合のもう 1 つの方法として、ルートプラン レポートも確認してください。</p>

表 50-1 インターコム トランスレーション パターンの設定値 (続き)



フィールド	説明
[パーティション (Partition)]	<p>パーティションを選択します。パーティションを割り当てない場合は、パーティションを選択しません。この場合は、[インターコム トランスレーションパターン (Intercom Translation Pattern)] フィールドに値を入力する必要があります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するパーティションの数を設定することができます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで指定した数よりも多くのパーティションが存在する場合、ドロップダウン リスト ボックスの横に [検索] ボタンが表示されます。[検索] ボタンをクリックして、[パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウを表示します。パーティション名を検索し、選択します (P.47-3 の「インターコム パーティションの検索」を参照)。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム] > [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p> <p> (注) インターコム トランスレーション パターン、ルートフィルタ、およびパーティションの組み合わせが、Cisco Unified Communications Manager クラスタ内で固有であることを確認してください。</p>
[説明 (Description)]	インターコム トランスレーション パターンの説明を入力します。
[番号計画 (Numbering Plan)]	<p>番号計画を選択します。</p> <p>インターコム トランスレーション パターンにワイルドカード@が含まれている場合は、番号計画を選択できます。オプションで番号計画を選択すると、所定の番号パターンが制限されます。</p>

表 50-1 インターコム トランスレーション パターンの設定値 (続き)



フィールド	説明
[ルートフィルタ (Route Filter)]	<p>オプションのルートフィルタを選択すると、所定の番号パターンが制限されます。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「ルートパターンとハントパイロット内のワイルドカードと特殊文字」、および P.35-4 の「ルートフィルタの設定値」を参照してください。</p> <p>表示されるルートフィルタは、[番号計画 (Numbering Plan)] ドロップダウンリストボックスで選択する番号計画によって異なります。250 より多くのルートフィルタが存在する場合、ドロップダウンリストボックスの横に [検索] ボタンが表示されます。[検索] ボタンをクリックして、[ルートフィルタの検索と一覧表示 (Find and List Route Filters)] ウィンドウを表示します。ルートフィルタの検索条件のフィールドで、検索条件を選択し、ルートフィルタ名の一部を入力します。表示されたルートフィルタのリストで、指定したいルートフィルタの横にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の追加] をクリックします。</p> <p> (注) リストボックスの最大項目を設定するには、[システム] > [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[MLPP 優先度 (MLPP Precedence)]	<p>ドロップダウンリストボックスで、このインターコム トランスレーションパターンに対する MLPP 優先度の設定を次の中から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [エグゼクティブオーバーライド] : MLPP コールに、一番高い優先度を設定します。 • [フラッシュオーバーライド] : MLPP コールに、2 番目に高い優先度を設定します。 • [フラッシュ] : MLPP コールに、3 番目に高い優先度を設定します。 • [即時] : MLPP コールに、4 番目に高い優先度を設定します。 • [プライオリティ] : MLPP コールに、5 番目に高い優先度を設定します。 • [標準] : MLPP コールに、一番低い優先度を設定します。 • [デフォルト] : 着信の優先レベルは上書きされず、そのまま渡されます。 <p> (注) 詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Multilevel Precedence and Preemption」の章にある「優先順位」を参照してください。</p>

表 50-1 インターコム トランスレーション パターンの設定値 (続き)

フィールド	説明
[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>必要に応じて、ドロップダウン リスト ボックスから、追加するインターコム トランスレーション パターン用のコーリングサーチスペースを選択します。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリングサーチスペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズパラメータで指定した数よりも多くのコーリングサーチスペースが存在する場合、ドロップダウン リスト ボックスの横に [検索] ボタンが表示されます。[検索] ボタンをクリックして、[コーリングサーチスペースの検索と一覧表示 (Find and List Calling Search Spaces)] ウィンドウを表示します。コーリングサーチスペース名を検索し、選択します (P.48-2 の「インターコム コーリングサーチスペースの検索」を参照)。</p>
[ルートオプション (Route Option)]	<p>[ルートオプション (Route Option)] の指定内容が、このインターコム トランスレーション パターンをコールのルーティング (9.@ や 8 [2-9] XX など)、またはコールのブロックに使用するかどうかを示します。[このパターンをルーティング (Route this pattern)] または [このパターンをブロック (Block this pattern)] オプション ボタンを選択してください。</p> <p>[このパターンをブロック (Block this pattern)] オプション ボタンを選択した場合、このインターコム トランスレーション パターンをコールのブロックに使用する理由を選択する必要があります。ドロップダウン リスト ボックスから値を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [エラーなし] • [未割り当ての番号] • [コールの拒否] • [番号の変更] • [番号形式が無効] • [優先レベルの超過]
[外部ダイヤルトーンの提供 (Provide Outside Dial Tone)]	<p>外部ダイヤルトーンは、Cisco Unified Communications Manager がローカル ネットワーク外にコールをルーティングすることを示します。ネットワーク外にあると思われる各インターコム トランスレーション パターンに対してこのチェックボックスをオンにします。</p>
[緊急優先 (Urgent Priority)]	<p>Cisco Unified Communications Manager は、[緊急優先 (Urgent Priority)] を指定してすべてのインターコム トランスレーション パターンを設定します。インターコム トランスレーション パターンの優先順位は変更できません。</p>
[発呼側変換 (Calling Party Transformations)]	
[発呼側の外線電話番号マスクを使用 (Use Calling Party's External Phone Number Mask)]	<p>発信コールで完全な外線電話番号を CLID (発呼側回線 ID) に使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p>

表 50-1 インターコム トランスレーション パターンの設定値 (続き)





フィールド	説明
[発呼側変換マスク (Calling Party Transform Mask)]	<p>変換マスク値を入力します。NANP で有効となるエントリーは、数字 (0 ~ 9)、ワイルドカード文字、アスタリスク (*)、シャープ (#)、大文字の A、B、C、D、およびブランクです。このフィールドがブランクのときに、上記のフィールド ([発呼側変換マスク (Calling Party Transform Mask)]) がオフの場合、発信側変換は行われません。詳細については、P.37-3 の「ルート リストの追加」を参照してください。</p>
[プレフィックス番号 (Prefix Digits、発信コール)]	<p>プレフィックス番号を入力します。NANP で有効となるエントリーは、数字 (0 ~ 9)、ワイルドカード文字、アスタリスク (*)、シャープ (#)、大文字の A、B、C、および D です。</p> <p> (注) 付加されたプレフィックス番号は、割り当てられたデバイスにルート指定される電話番号に影響を与えません。</p>
[発呼側回線 ID の表示 (Calling Line ID Presentation)]	<p>Cisco Unified Communications Manager は補助的なサービスとして、CLIP/CLIR (発信側の回線 ID 表示) を使用します。これは、コールごとに発信者の電話番号を許可、または制限します。</p> <p>このインターコム トランスレーション パターンに対して、Cisco Unified Communications Manager が発信側電話番号を着信側の番号表示画面で表示するかどうかを選択します。</p> <p>発信側の回線 ID 表示を変更しない場合は、[デフォルト] を選択します。Cisco Unified Communications Manager で発信側の電話番号が表示されるようにする場合は、[許可] を選択します。Cisco Unified Communications Manager が発信側の電話番号を表示しないようにする場合は、[非許可] を選択します。</p> <p>このフィールドの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「発信側番号の変換設定値」の項にある表 15-6 を参照してください。</p> <p> (注) コール表示制限を設定するには、このパラメータおよび [接続回線 ID プレゼンテーション (Connected Line ID Presentation)] パラメータを [プレゼンテーションインジケータを無視 (Ignore Presentation Indicators、内線コールのみ)] デバイスレベルパラメータと組み合わせて使用します。同時に、これらの設定値では、各コールに対して発信側の回線または接続側の回線の表示情報を表示するか、制限するかを選択できます。[プレゼンテーションインジケータを無視 (Ignore Presentation Indicators、内線コールのみ)] フィールドの詳細については、P.88-3 の「デバイス プロファイルの設定」および P.82-7 の「電話機の設定値」の表 82-1 を参照してください。コール表示制限の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Call Display Restrictions 機能」の章を参照してください。</p>

表 50-1 インターコム トランスレーション パターンの設定値 (続き)

フィールド	説明
[発呼名プレゼンテーション (Calling Name Presentation)]	<p>Cisco Unified Communications Manager は補助的なサービスとして、CNIP/CNIR (発信側の名前表示) を使用します。これは、コールごとに発信者の名前を許可、または制限します。</p> <p>このインターコム トランスレーション パターンに対して、Cisco Unified Communications Manager が発信側の名前を着信側の表示画面で表示するかどうかを選択します。</p> <p>発信側の名前表示を変更しない場合は、[デフォルト] を選択します。Cisco Unified Communications Manager で発信側の名前情報を表示させる場合は、[許可] を選択します。Cisco Unified Communications Manager が発信側の名前情報を表示しないようにする場合は、[非許可] を選択します。</p> <p>このフィールドの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「発信側番号の変換設定値」の項にある表 15-6 を参照してください。</p>
[接続側変換 (Connected Party Transformations)]	
[接続回線 ID プレゼンテーション (Connected Line ID Presentation)]	<p>Cisco Unified Communications Manager は補助的なサービスとして、COLP/COLR (接続側の回線 ID 表示) を使用します。これは、コールごとに着信側の電話番号を許可、または制限します。</p> <p>このインターコム トランスレーション パターンに対して、Cisco Unified Communications Manager が接続側電話番号を発信側の番号表示画面に表示するかどうかを選択します。</p> <p>接続側の回線 ID 表示を変更しない場合は、[デフォルト] を選択します。接続側の電話番号を表示する場合は、[許可] を選択します。Cisco Unified Communications Manager が接続側の電話番号を表示しないようにする場合は、[非許可] を選択します。</p> <p>このフィールドの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「接続先情報の表示設定と制限設定」の項にある表 15-9 を参照してください。</p>
[接続名プレゼンテーション (Connected Name Presentation)]	<p>Cisco Unified Communications Manager は補助的なサービスとして、CONP/CONR (接続側の名前表示) を使用します。これは、コールごとに着信側の名前を許可、または制限します。</p> <p>このインターコム トランスレーション パターンに対して、Cisco Unified Communications Manager が接続側の名前を発信側の画面表示に表示するかどうかを選択します。</p> <p>接続側の名前表示を変更しない場合は、[デフォルト] を選択します。接続側の名前を表示する場合は、[許可] を選択します。Cisco Unified Communications Manager が接続側の名前を表示しないようにする場合は、[非許可] を選択します。</p> <p>このフィールドの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「接続先情報の表示設定と制限設定」の項にある表 15-9 を参照してください。</p>

表 50-1 インターコム トランスレーション パターンの設定値 (続き)

フィールド	説明
[着信側変換 (Called Party Transformations)]	
[番号の削除 (Discard Digits)]	<p>このインターコム トランスレーション パターンに関連付ける数字破棄命令を選択します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「数字破棄命令」を参照してください。</p> <p> (注) 表示される数字破棄命令は、[番号計画 (Numbering Plan)] ドロップダウン リスト ボックスで選択する番号計画によって異なります。</p>
[着信側変換マスク (Called Party Transform Mask)]	<p>変換マスク値を入力します。NANP で有効となるエントリーは、数字 (0 ~ 9)、ワイルドカード文字、アスタリスク (*)、シャープ (#)、大文字の A、B、C、D、およびブランクです。このフィールドがブランクである場合、変換は行われません。ダイヤルされた番号が、ダイヤルされたとおりに送信されます。</p>
[プレフィックス番号 (Prefix Digits、発信コール)]	<p>プレフィックス番号を入力します。NANP で有効となるエントリーは、数字 (0 ~ 9)、ワイルドカード文字、アスタリスク (*)、シャープ (#)、大文字の A、B、C、D、およびブランクです。</p> <p> (注) 付加されたプレフィックス番号は、割り当てられたデバイスにルート指定される電話番号に影響を与えません。</p>

追加情報

P.50-12 の「関連項目」を参照してください。

インターコム トランスレーション パターンの削除

トランスレーション パターンを削除する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** [コールルーティング] > [インターコム] > [インターコムトランスレーションパターン] の順に選択します。
- ステップ 2** 削除するインターコム トランスレーション パターンを見つけます。P.50-2 の「[インターコム トランスレーション パターンの検索](#)」を参照してください。
- ステップ 3** 削除するインターコム トランスレーション パターンのチェックボックスをオンにして、**[選択項目の削除]** をクリックします。

この操作を実行すると取り消せないことを確認するメッセージが表示されます。
- ステップ 4** インターコム トランスレーション パターンを削除するには、**[OK]** をクリックします。削除操作を取り消すには、**[キャンセル]** をクリックします。



注意

インターコム トランスレーション パターンを削除するときは、削除するインターコム トランスレーション パターンが正しいか慎重に確認してください。削除したインターコム トランスレーション パターンを元に戻すことはできません。誤って削除した場合、削除したインターコム トランスレーション パターンを作成し直す必要があります。



ヒント

インターコム トランスレーション パターンの削除は、削除するトランスレーション パターンを見つけて表示し、**[削除]** をクリックすることによっても実行できます。

追加情報

P.50-12 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [インターコム トランスレーション パターンの検索 \(P.50-2\)](#)
- [インターコム トランスレーション パターンの設定 \(P.50-3\)](#)
- [インターコム トランスレーション パターンの設定値 \(P.50-4\)](#)
- [インターコム トランスレーション パターンの削除 \(P.50-11\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「ルート プランの概要」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「数字破棄命令」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「接続先情報の表示設定と制限設定」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「発信側番号の変換設定値」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Call Display Restrictions 機能」
- [電話機の設定値 \(P.82-7\)](#)